

令和元年度「かながわ人づくり推進ネットワーク情報交換会」の実施結果の概要

1 開催の趣旨

「かながわ教育ビジョン」（以下、「教育ビジョン」という。）の理念や、かながわ人づくり推進ネットワーク（以下、「ネットワーク」という。）の役割、主な取組みの「かながわ人づくりコラボ」（以下、「人づくりコラボ」という。）の趣旨等について理解を深めるとともに、人づくりに関する取組みの情報交換等を行うことで、参加団体同士の協働・連携の拡大・充実を図る。

※ ネットワークの企画・運営を行う幹事会が主催し、参加団体の任意の参加を呼びかけ開催した。

2 開催の状況

- (1) 日時 令和元年7月20日(土) 15:00～17:00
- (2) 場所 かながわ県民センター 301 会議室（横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2）
- (3) 参加者 35 名

3 開催の内容

ネットワーク幹事会の大嶽幹事により、全体の進行がなされた。



○ 開会の挨拶（ネットワーク幹事会 林副幹事長）

- ・ 教育ビジョンの理念やネットワークの活動について理解を深めるとともに、参加団体同士の情報交換による協働・連携の推進に向け、毎年度開催しているネットワーク情報交換会も今年で3回目となる。
- ・ 今年は昨年に比べ、意見交換の時間をさらに増やし、テーマの設定や意見発表の時間を設けるなどの工夫をした。
- ・ 意見交換では、各参加者にも積極的な発言を期待するとともに、本日を契機に、参加団体同士の協働・連携をより推進していきたい。



(1) 「かながわ教育ビジョン」等について（ネットワーク幹事会 内藤幹事長）

ネットワーク幹事会の内藤幹事長より、スライドに基づき、教育ビジョン、ネットワーク、人づくりコラボ、ネットワーク情報交換会の趣旨等について説明がなされた。

（教育ビジョンに関する主な内容）

- ・ 教育ビジョンは、平成19年からの概ね20年間を見据えた、本県の教育の総合的な指針であり、子どもから大人まで「生涯を通じた人づくり」を重視したものであること。
- ・ 教育ビジョン策定においては、県民総ぐるみで行われたものであり、取組みについては県だけでなく、学校や市町村、家庭や地域、企業やNPOなど、様々な方々と、共感・共有に基づく、「協働・連携による人づくり」を進めることとしていること。



(ネットワークに関する主な内容)

- ・ ネットワークが、様々な団体により結成され、教育ビジョンの策定や推進に重要な役割を担っていること。
- ・ ネットワークの主な活動として、参加団体同士の協働・連携を推進するため、ネットワーク情報交換会を開催していること、「かながわ教育月間」を活用した参加団体同士の交流の促進を図っていること、教育ビジョンの普及に向けて、ミニポスターの配付やホームページの運営等に取り組んでいること。
- ・ ネットワーク参加団体の皆様にも、積極的に協力してほしいこと。

(人づくりコラボに関する主な内容)

- ・ 今年度はアテネ五輪アーチェリー銀メダリストの山本博氏をお招きして講演いただくこと。
- ・ ネットワーク参加団体の皆様にも、積極的な参加をお願いしたいこと。

(2) 今後の協働・連携の拡大・充実について

人づくり推進ネットワーク協力団体¹から選出された各テーブルのファシリテーターを中心に、テーマに基づき、グループごとに意見交換を行うとともに、まとめとして各グループからその結果が報告された。

(意見交換の主な結果について)

- ・ 幼稚園から大学までの一体的な連携が重要だと思う。特に、制度的に中・高の連携がうまくできていないように感じることもある。
- ・ 制度的に取り組めないところも、NPOなどで個別にカバーしている取組みもあるので、そういった取組みにネットワークとして連携・協力していけると良いと思う。
- ・ 進路選択について、偏差値だけを判断基準にして考えるのではなく、小学校・中学校段階での早期のキャリア教育等を通じて、子どもたちが主体的に進路を選択できるようになることが大事だと思う。
- ・ キャリア教育の取組みについて、学校だけでなく、様々な主体が連携して取り組むことが大事であると思う。
- ・ 県内でも様々なイベントが開催されているが、個々の環境の違いにより、情報が必要としている児童・生徒にまで情報が届いていない状況があるのではないかと。
- ・ 児童・生徒に対する取組みについては、参加団体が単独で行うのが難しい面もあるので、教育委員会やネットワークと連携していけると良いと思う。
- ・ スポーツの場として、学校における部活動だけでなく、地域のスポーツクラブも増えており、そういった場を活用していけると良いと思う。
- ・ ネットワークの活性化に向け、その存在を企業にもっと知ってもらうことも必要ではないか。また、地域の活動に理解のある企業もあるので、ネットワークの活動に協力してもらうためにも、双方にメリットのあるWin-Winの関係を築くことが大事だと思う。
- ・ 教育月間のイベント報告書を活用することで、県内の教育関係団体の取組み概要を知ることができるので、もう少し広く周知できると良いと思う。



- ・ 協働イベントのマッチングに当たっては、イベントの情報や協力してほしい内容が集約されているようなウェブサイトをプラットフォームとして活用していけると良いと思う。

(3) 幹事会からの諸連絡（ネットワーク幹事会 石塚幹事）

協働・広報とりまとめである石塚幹事より、ネットワーク幹事会からの連絡事項として次のとおり説明があった。

- ・ 「かながわ人づくりコラボ 2019」への積極的な参加をお願いしたい。
- ・ 「かながわ人づくりコラボ 2019」の周知・広報への協力をお願いしたい。
- ・ かながわ教育月間を活用した取組み（積極的なイベント実施、ネットワーク・ビジョンの周知、イベントの実施報告など）に協力いただきたい。
- ・ 周知用ポスターの掲示等を通じた教育ビジョンの意識啓発をお願いしたい。
- ・ ネットワークホームページの活用と相互リンクの設定をお願いしたい。



○ 閉会のことば（ネットワーク幹事会 中島幹事）

- ・ 本日の意見交換の中にも大変参考となる意見や視点があった。今後のネットワークの活動にも生かしていきたいと思っている。
- ・ 団体名の「ネットワーク」という言葉通り、本日の情報交換会の中で生まれたネットワークもあるかと思うので、そういったものを活用してかながわの人づくりが進んでいくことを期待したい。



以上

i 人づくり推進ネットワーク協力団体…

参加団体のうち、幹事が属する参加団体で、ネットワーク事業の企画・運営に積極的に協力できる団体のこと。令和元年7月時点で、以下の7団体に協力いただいている。

NPO教育かながわフォーラム	神奈川県公立中学校長会	神奈川県立学校長会議
神奈川県専修学校各種学校協会	神奈川県体育協会	神奈川工科大学
鎌倉女子大学		